

YU 夢 ME



入居者
橋戸一男

平成九年六月一日日曜日、晴れた空を見上げ、長寿園に入居したのを今でも忘れない。六四歳で入居し二〇年が経った。八四歳になった今では入居当初の入居者は、もう数えるほどしかない。

生まれも育ちも小田原で、これまで小田原から出たことがない。両親を早くに亡くし、中学



もくじ

自分らしく……………	1～2
短歌・俳句・川柳……………	2
「心配だった二人暮らしから、安心の長寿園での暮らしへ」……………	3
第三弾 タイムトラベル……………	4
長寿園の日々 編集後記……………	5～6

長寿園理念

「人生の目的は円満幸福の生活にある」との信念に基づき、高齢者がそれぞれ円満で幸福な生活ができるよう所要の協力と支援を行うことにより社会に貢献します。

【発行所】
一般財団法人 長寿会
小田原市入生田475
TEL.0465-24-0002(代)
発行人/加藤 伸一
編集/「夢」編集委員会

を卒業するとすぐに職に就いた。数年が経ち仕事にも慣れた頃、現場での仕事中に事故に遭い、左足に障害を負ってしまった。障害者認定を受けることとなったが、幸い仕事は続けることが出来た。

入居当初は自分で歩いて、毎日のようにマイクロスパスで市内へ出かけていた。入居して三、四年が過ぎたある夜、浴場で入浴中に転んで左足首を骨折してしまっただけでなく、治療後は足首が固まってしまい、装具が必要となった。館内を歩くにもヘルパーさ

んに装具を着けてもらい、松葉杖を使用して見守りが必要な状態である。そのような状態がずっと続いてきたが、ここ三年位になるだろうか、課長から椅子を自分で操作してみてもどうかとの話があり、取り組んでみたところ、車椅子を自走して館内を好きな時間に移動することが出来るようになった。車椅子乗車時は装具の装着が不要となるからである。もちろん慣れるまではヘルパーさんに付き添ってもらい、安全に自走できていることが確認され、今日に至っている。

印象に残っているエピソードと言えば、竜巻があったことくらいだろうか。もう十数年前になると思うが、箱根山荘が見えなくなるくらいに竜巻が起こ

り、今あるウッドデッキの辺りを抜けていった。次の日は倒木などでマイクロバスが運行できなくなったことを今でも覚えている。

入居して二〇年になるが、これまで困ったことはなく、生活スタイルは全くといっていいほど変わっていない。逆に車椅子使用の発想から自由に行動できる時間が増えたという点では、生活の向上に値するのではないだろうか。

午前中は部屋で過ごし、午後から車椅子で活動を始める。ロビーで新聞を読んだり、運動を兼ねてD棟は四階まで行ったり、時にはC棟まで行ったりする。

食事は三食食堂を利用していい。基本的に好き嫌いはないが、苦手な食べ物が二つある。ウニとゆで卵である。ウニは甘さがあるが、ゆで卵は黄身が口の中に残ってしまうのが苦手で、おでんの時は最初から抜いてもらっている。

体重は増えたり減ったりする

が、殆ど変わらない。体重コントロールをして六一キロにまで落としたが、今ではまた、ちょっと増えて六五キロを行ったり来たりしている。

入浴はC棟でのリフト浴。リフト浴用の車椅子ごと入浴出来て、体も温まるし申し分ない。

アニメが好きで、アニメのDVDとなると、デイズニーやジブリが品数も多く目立ってしまいうためか、つい買ってしまっ

買った方がいいが、いつでも見ることが出来るといふ思いからか、いまだに見ていないものもある。その他、昔のテレビ番組を見たりする。最近ではBSでのドリフ大爆笑が面白い。

出来ないところはヘルパーさんの手を借りながらではあるが、自分らしく生活していけることに感謝して、これからも過ごしていこうと思う。



短歌

故里は霞まじりの雲ふる映像なれど寒さ覚ゆる
風花の舞ふ京の街歩みつ、雪の金沢故里恋ひし

鈴木 芳子

俳句

塩の道赤きコスモス鮮やかに
陽は落ちて秋刀魚の匂う帰り道

小田切比路子

川柳

皺の手を引く孫の手の頼もしき
月旅行出来ても恐いのは地震

松本 正子

獅子舞に噛ませ今年の厄払い
冬晴れへ冷えた手足へ活を入れ

田中 和子

秋草を活け思い出と夜が更け
居乍らに四季が楽しい長寿園

青木 千代

いつの間に蕾嬉しい朝の鉢
断捨離へ未練心をぶった切る

小池 怜子

お部屋から見る名月を知らせ合
あちこちの名所も見せるミステリー

田川 富子

「心配だった二人暮らしから、 安心の長寿園での暮らしへ」

本澤様家族 高橋あゆみ様

長寿園に入居し、一年が過ぎようとしています。一年前までは、二人暮らしの両親に、私は心配が絶えず、夜、寝るときには枕元に携帯電話を置いていた状態でした。今は、長寿園にお世話になって



いるおかげで、安心して寝られるようになりました。父は長年、写真店をしており、自分でも写真を撮るのが大好きでした。家族の七五三や成人式の写真を自分のスタジオで撮ったり、私たちと一緒に出かけた北海道旅行のアルバムを作ってくれたりしていました。しかし、高齢から写真店を閉店して以降は、写真もあまり撮らなくなっ

ていました。入居の一年前には、怪我や低血糖発作から救急搬送されることが続きました。また、母は日本舞踊を結婚前

にはしていて、私たちを育て上げた後は、日本舞踊をやりたいと思っていたようです。しかし、五年ほど前に乳がんを患い、痩せてしまった影響から腰に強い痛みを感じるようになりました。また、視力も落ちてきて、一人で外出するのが難しい状況でした。

このように二人だけで暮らしていくのが次第に難しくなってきたので、私たち兄弟は、怪我や火事が心配でした。そこで、安心して暮らしていける老人ホームを捜し始めました。母の希望は、「寝室とリビングが別

のスペースであること」「神奈川県内にあること」でした。それに加えて、夜間の人手が充実していること、医療環境が充実していることという条件で探して、見つけたのが長寿園でした。老人ホームへの入居を嫌がっていた父が、体験入居をしてみると、食堂から見える海や朝日、夕日、そして大浴場が気に入り、「長寿園になら入

居したい」と言うようになりました。近くには病院がいくつかあり、小田急線沿線に住んでいる弟や妹も行きやすく、私たち子ども達にも安心な環境でした。

そこで一年前に入居することになりました。入居後は、園の職員の方や入居されている方々との関わりの中で、それ以前より元気になりました。園での生活を楽しんでいくようです。出来るだけ長く、穏やかな日々を長寿園で過ごしてくれればと願っています。



[提供：職員奥様より]

タイムトラベル

〈第三弾〉

クラブ活動について

理事長 加藤 伸一
相談員 川上 歩惟

過去多くのクラブ活動がありましたが印象的なクラブ活動はありますか。

理事長
ダンスクラブは印象的に残って



昭和63年ひな祭りダンスパーティー (ラウンジにて)

います。発足は昭和六十年代で当初はフォークダンスを年に数回ラウンジで行なっていました。その後D棟が開設し、大ホールがオープンすると講師を呼び社交ダンスを定期的に開催するよ



平成10年ダンスパーティー

うになりました。そして、ひな祭りダンスパーティーやクリスマスダンスパーティーなど順次増えました。そのころ、有料老人ホームは全国的にも少なかったため県内の公的老人ホームも含めた共同文化祭に参加し、小田原の市民会館で発表もしました。当時のご入居者は華道、茶道、社交ダンスなど若い頃の共

通の経験がありクラブ活動を開催しても大勢の方が参加できました。明治大正生まれの方は自立的に何か始めるといことが得意な方が多く「聖書研究会」や「謡曲の会」などご入居者主体の同好会が多かったです。

今後のクラブ活動について。

川上

アンケイトなどには様々なクラブを立ち上げて欲しいと意見がありました。少人数では園主催では始められないのが現状です。また、介護予防教室やいきいき元氣会、脳トレ教室など「介護予防」に対する皆様の関心が高いように感じます。

理事長

趣味の多様化や高齢化に伴い、多人数で集まり何かを一緒に楽しむと言うクラブ活動の形自体の見直しが必要なのではないかと思えます。今までは「楽しむ」事が中心だったクラブ活動が「介護予防」と目的が変わってしまったように思います。三〇年前にはご入居者の年齢差があ

まりありませんでしたが、現在では七〇代〜九〇代と大きく広がりが過ごされてきた時代背景も異なります。したがって様々な価値観があるのが当然だと思えます。今後、少人数での同好会などが中心になるのではないのでしょうか。



いきいき元氣会

川上
ありがとうございました。

進行 川上 歩惟
タイムトラベル 第三弾

長寿園の日々

- 十一月二十九日 秋の行楽ショート
- 十二月 六日 秋の行楽ロング
- 十二月 ミカン狩り
- 十二月一〇日 十字町教会歌のプレゼント
- 十二月二三日 コーチャル歌声の部屋
- 十二月二四日 クリスマス会食



秋の行楽ショート



ミカン狩り



秋の行楽ロング



クリスマス会食



十字町教会歌のプレゼント



コーチャル歌声の部屋



入職し様々な行事に参加させていただきました。とても印象に残っているのは夏祭りのアトラクションです。ご入居者から「良かったよ」など感想を言って頂けました。これからも色々な行事を通して皆様に楽しんでいただけるよう頑張りたいと思います。

ヘルパー 小金澤

長寿園の日々



新年初顔合わせ



新年会

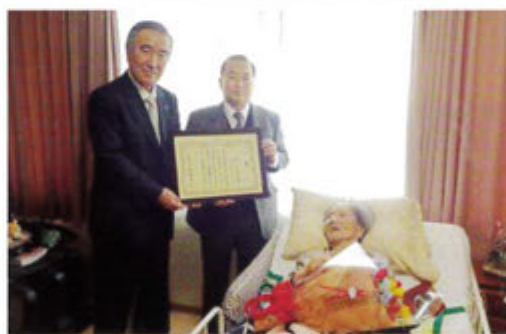


二〇一八年
 一月一日 新年初顔合わせ
 一月三日 新年会
 一月四日 どんど焼き



平成二九年一〇月二四日、加藤翔職員に第二子が誕生しました。
 名前は瑛茉(えま)ちゃん女の子です。
 紗菜ちゃん(三歳)もお姉ちゃんらしさ發揮、

お世話はお手のもの！カメラマンのお父さんに向かっ
 てとってもいいお顔です。



秋山ユキ様百歳のお祝い
 今年一月三日C棟でご生活中の秋山ユキ様が百歳を迎えられました。お祝いに小田原市副市長加部様が来園され贈呈されました。

おめでとう

編集 後記

猿、猪、ハクビシンなど園にはさまざまな珍客がお見えになりますが、今回中庭に來園したのは可愛らしい「チヤボ」!!長寿園の癒し系アイドルとなっております♪

暑さ寒さも彼岸まで。風邪など引かぬよう暖かくお過ごし下さい。次回発行は平成三十年七月を予定しております。

夢編集委員会

